

## こんな場面で困っています

### 場面①

聴覚に障害があることは、外見からは分かりにくいので、相手が聞こえる前提で話してしまうことがあります。

また、中途失聴者など、話すことができる方もいますが、「話せる＝聞こえる」と勘違いされて、どんどん話されてしまうことがあります。

相手の反応を見ながら、コミュニケーションをとりましょう。



### 場面②

電車等で緊急事態があったときに、車内アナウンスのみで情報を伝える場合があります。

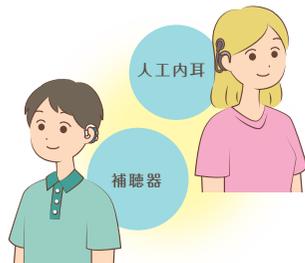
そのような時、音声から情報を得ることが困難な方は、状況を把握することができません。

困っていそうな方を見かけたら、ぜひ声をかけてみてください。



## もっと知っておきたいポイント!

### 人工内耳・補聴器



人工内耳は、音を電気信号に変え、直接聴神経を刺激します。人工内耳・補聴器ともに、大声で話すと音が割れて聞き取りにくいことがあります。声のボリュームに配慮しましょう。

また、すべての音がしっかり聞こえるわけではありません。テレビやスピーカーの音が聞き取りづらい方もいます。

ボランティア活動時や移動時に、館内放送など音声のみの放送があった場合には、積極的にサポートしましょう。

# ボランティアガイド

## ～聴覚障害者サポート編～

ボランティアの現場で共に活動する仲間や来場者の中には聴覚に障害のある方もいます。

聴覚に障害のある方をサポートするときに役立つアドバイスをまとめました!

## サポートの基本

笑顔で  
お声がけ



必要な  
サポートを  
お伺いする

サポートは  
声をかけて  
から



# サポートするときのポイント

- 1 正面に立ち、口や表情が見えるようにする
- 2 コミュニケーション方法は相手にたずねる
- 3 コミュニケーション方法は組み合わせると有効  
例) 筆談 + ジェスチャー



# さまざまなコミュニケーション方法

## 筆談

筆談は、難しい言い回しを避け、短い言葉で書きます。

### わかりやすい書き方

7時 ●● 駅南口 集合  
弁当持参

### わかりにくい書き方

朝早く申し訳ありませんが、7時●●  
駅南口前に集合となります。周辺に飲  
食店があるか分かりかねますので、お  
弁当を持参いただけると有難いです。

タブレットやスマートフォン、筆談器、音声認識アプリ（UDトーク等）も便利です。



筆談器



音声認識アプリ

## 手話

聞こえない方、聞こえにくい方たちの中で自然に生まれた独自の言語です。地域や国によっても、手話は異なります。

手話は、うなずきや首振りなどの頭の動きや顎の位置、眉や目の動き、視線、口の形など、手指以外の情報も、伝える際の大切な要素になります。

手話と日本語は、異なる言語のため、「手話」でコミュニケーションをとる方の中には、日本語による筆談が苦手な方もいます。

ありがとう



拍手



やってみよう!

(参考HP)よく使う手話



羽田空港に設置されている「手話フォン」

遠隔地にいる手話通訳者とテレビ電話でつなぎ、手話や文字を通訳することで、電話をかけることができる「電話リレーサービス」を知っていますか。

空港などには、手話に対応した公衆電話ボックス「手話フォン」が設置されています。

## 読話

あ



読話とは、口の動きや表情を見て、何を言っているか判別することです。ゆっくり一文字ずつ話すと、かえってわかりにくくなりますので注意しましょう。

## ジェスチャー



表現方法に正解はありません。相手に伝えようとする気持ちが大切です。

相手の方とコミュニケーションを取りながらサポートすることが大切です